

学校評価に関するアンケート結果

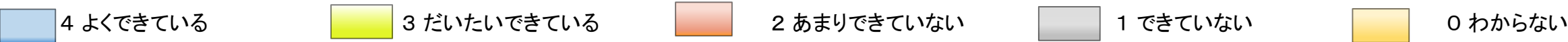
1 実施期間 令和7年12月1日(月)～19日(金)

2 回答者数 (カッコ内%は回答率)

生徒 858名(91.9 %) 保護者 340名(36.4 %) 教職員 84名

3 アンケート結果

グラフの左側から

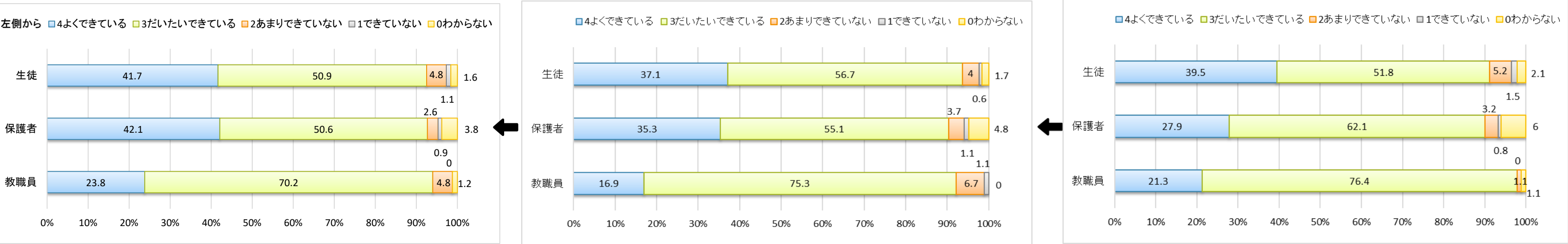


本年度(R7年度)

昨年度(R6年度)

一昨年度(R5年度)

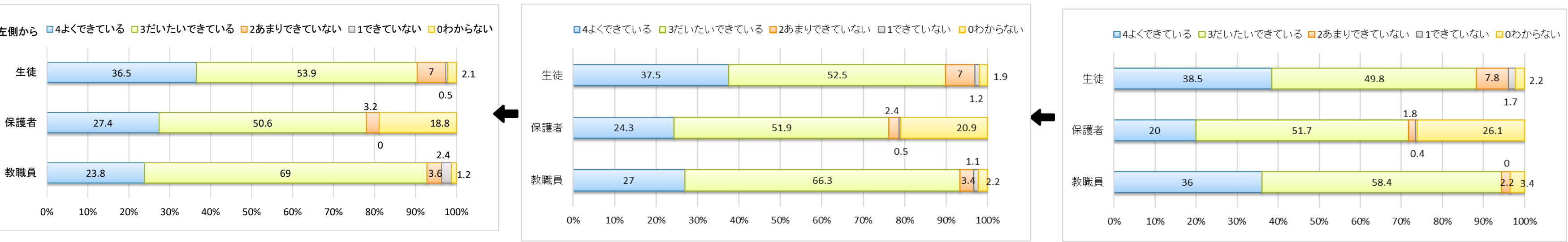
質問1 生徒が伸び伸びと主体的に深く学べる学校づくり



質問1

生徒、保護者、教職員のいずれも9割以上が肯定的に評価しており、生徒が主体的に学べる環境づくりが概ね実現できていると感じているようだ。ただし、教職員の「よくできている」が他の層より低いのは、まだ改善の余地があると感じている向上心の表れかもしれない。

質問2 ICT（情報通信技術）の活用による分かる授業の展開



質問2

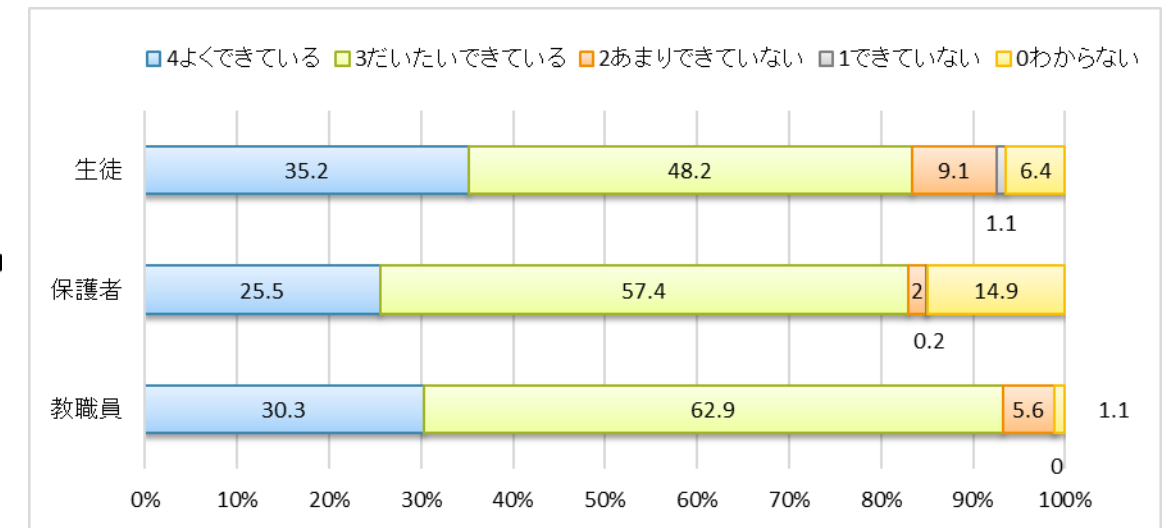
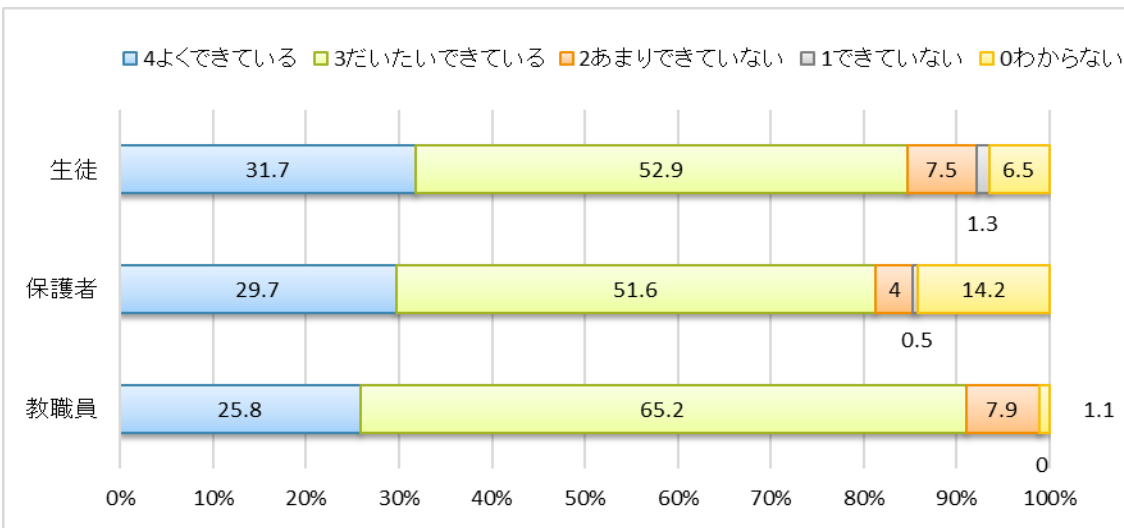
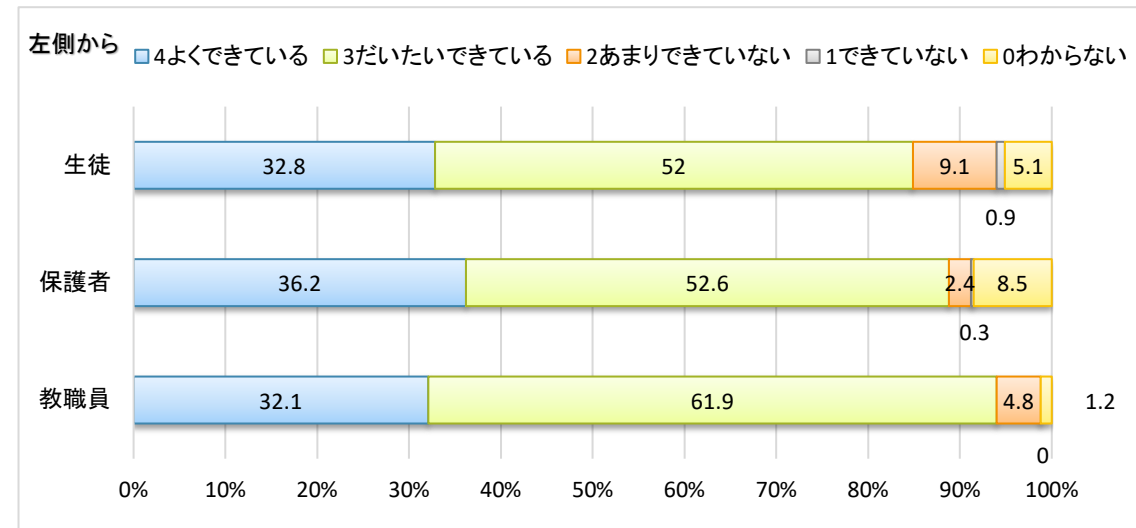
教職員と生徒は9割前後が肯定的に評価している一方で、保護者の評価はやや低め。特に「わからない」が18.8%と高く、ICT活用の実態が保護者に十分伝わっていない可能性がある。保護者の理解が深まるような情報の発信が必要かもしれない。

本年度(R7年度)

昨年度(R6年度)

一昨年度(R5年度)

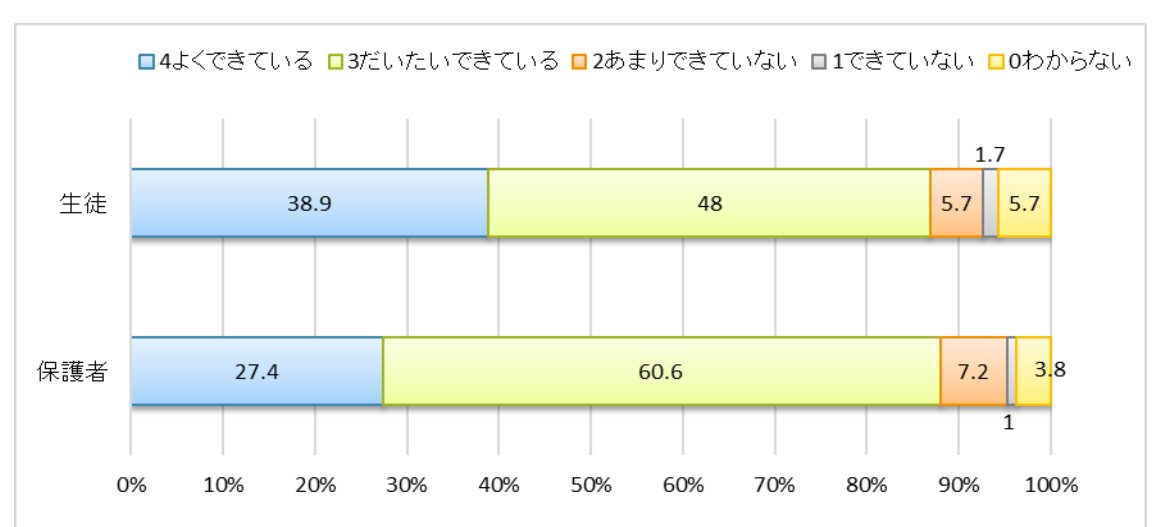
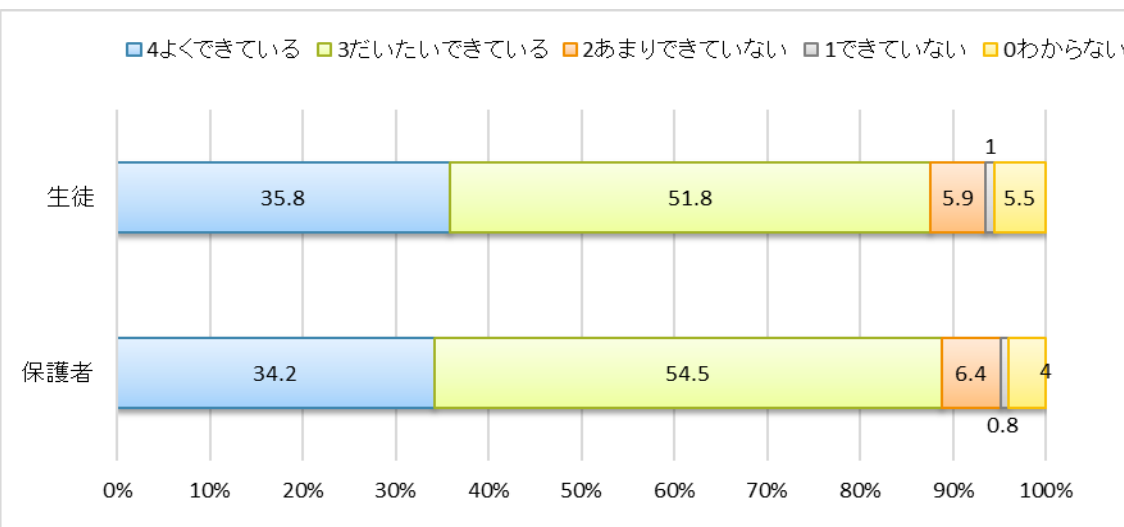
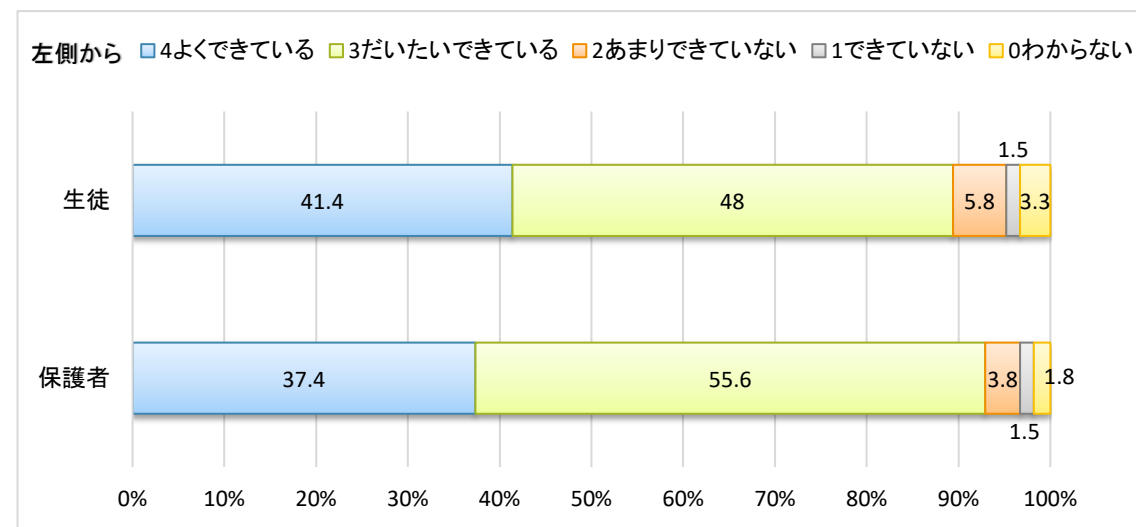
質問3 地域に開かれ、貢献できる学校づくり



質問3

教職員と保護者からの評価が高い一方で、生徒の実感がやや薄い印象を受ける。地域とのつながりを実感できるよう、活動の意義などについて生徒に分かりやすく説明する必要があるのかもしれない。

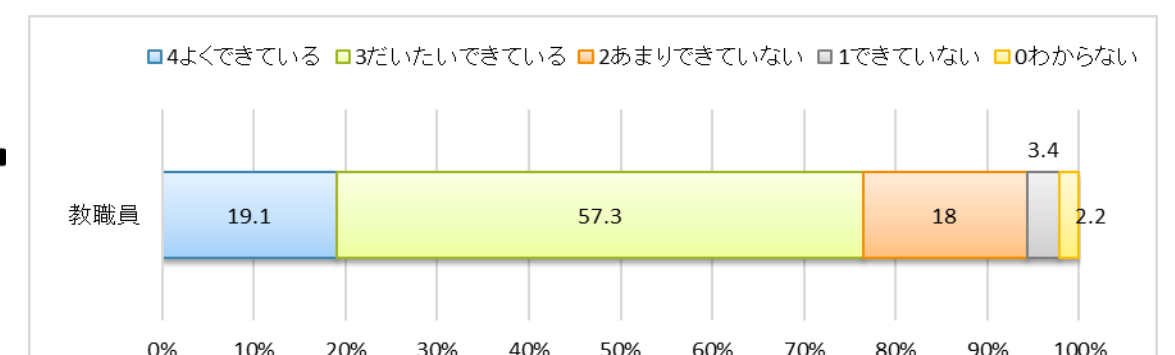
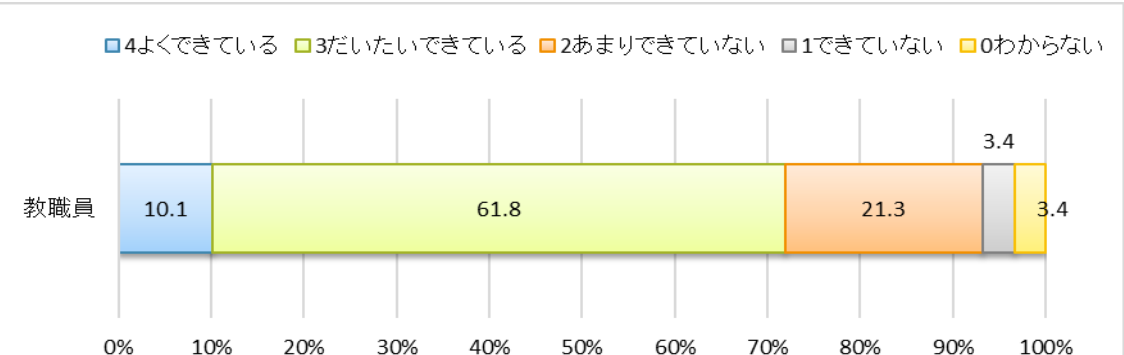
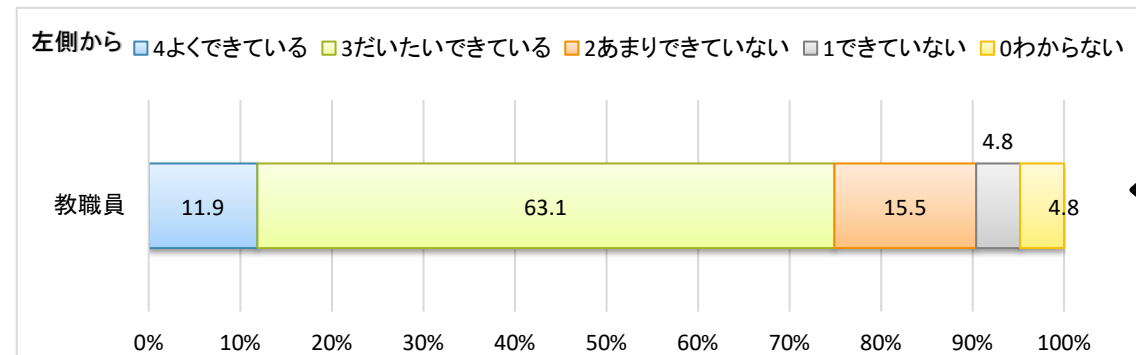
質問4 [生徒・保護者]保護者から信頼され安心して託される学校づくり



質問4（生徒・保護者）

両者ともに肯定的評価が上昇しており、学校への信頼感が高まっていることがうかがえる。特に保護者の評価が改善しており、学校の取組が評価され散ることが分かる。今後も信頼関係を強めるために日々の取組を大事にしていきたい。

質問4 [教職員] 教職員がやりがいをもって教育できる学校づくり



質問4（教職員）

教職員のやりがいに対する評価は波がありつつも、今年度はやや回復傾向にあることが読み取れる。ただし、「よくできている」の割合が依然として低く、やりがいを強く実感できる環境づくりには引き続き課題があると言えそうだ。

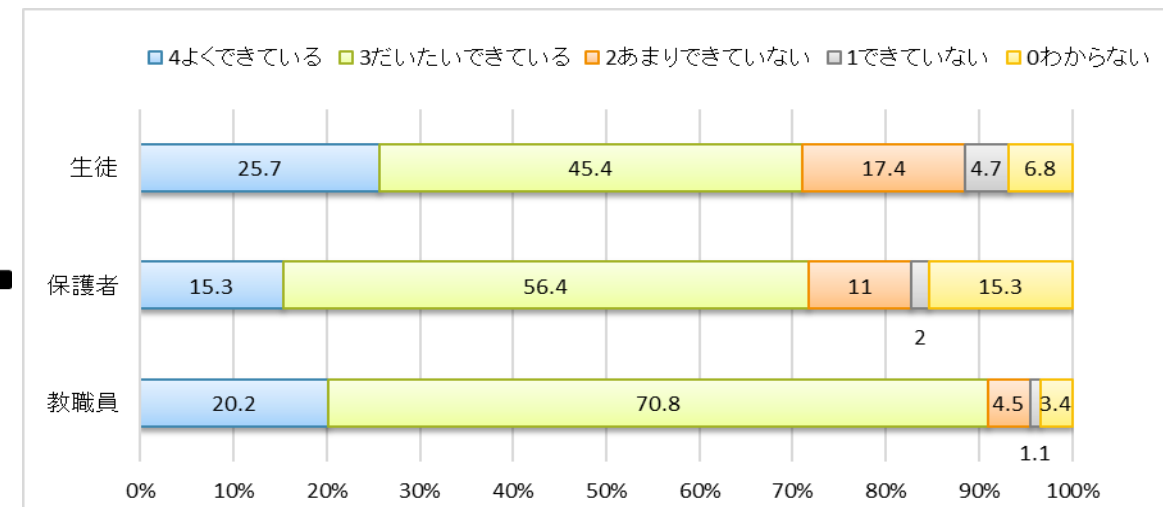
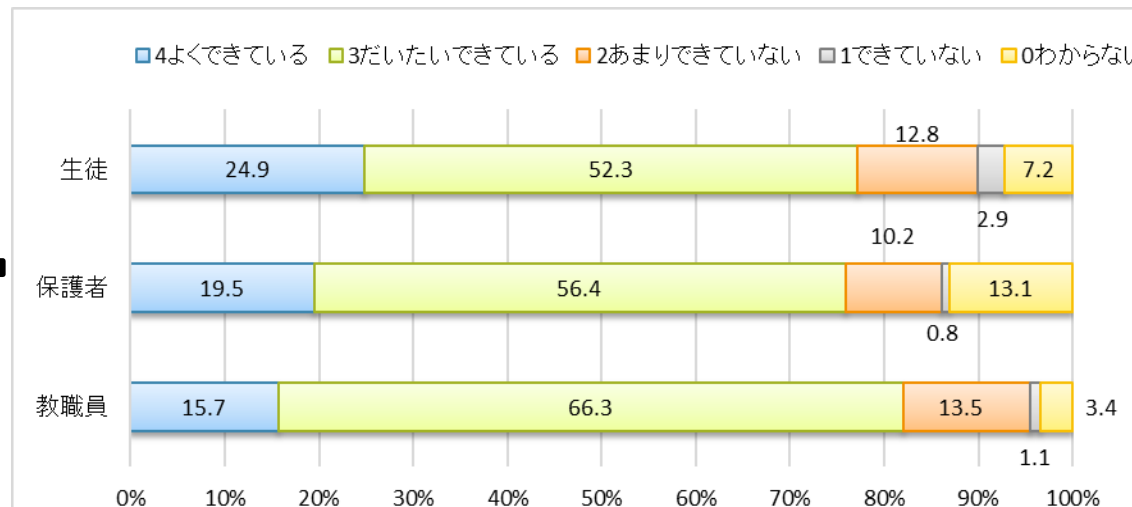
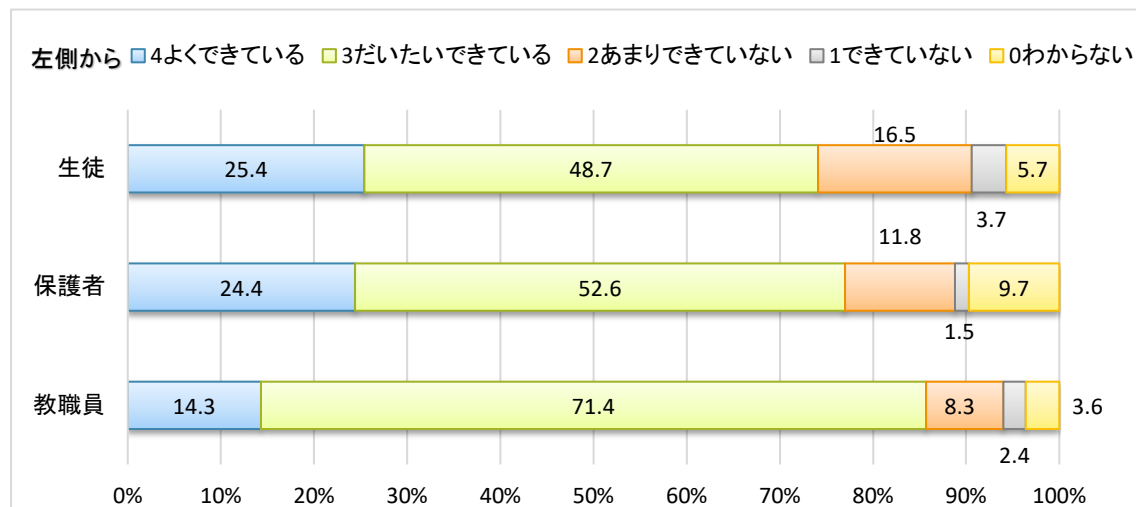
本年度(R7年度)

(グラフ内の数値は、%単位)

昨年度(R6年度)

一昨年度(R5年度)

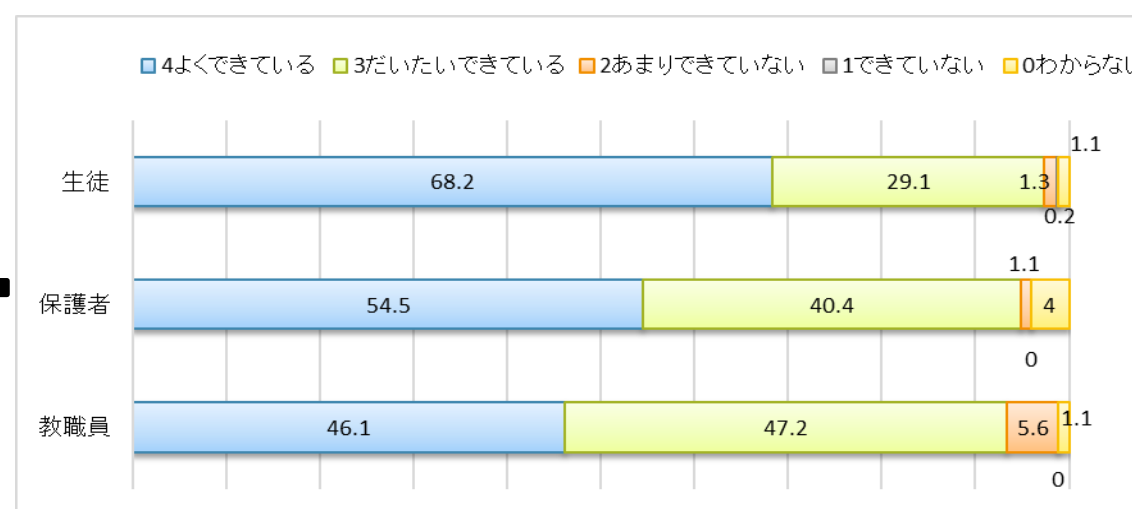
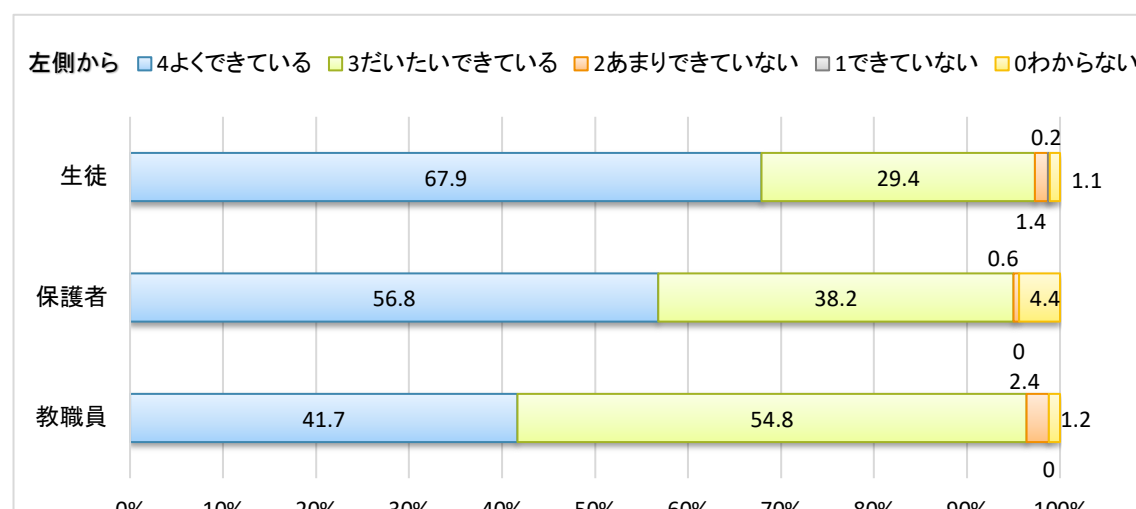
質問5 生徒や保護者の意見を生かした学校づくり



質問5

教職員の取組の自覚と、生徒・保護者の実感に差があることが分かる。意見がどのように反映されているかを「見える化」し、生徒・保護者の信頼感や満足度を高める工

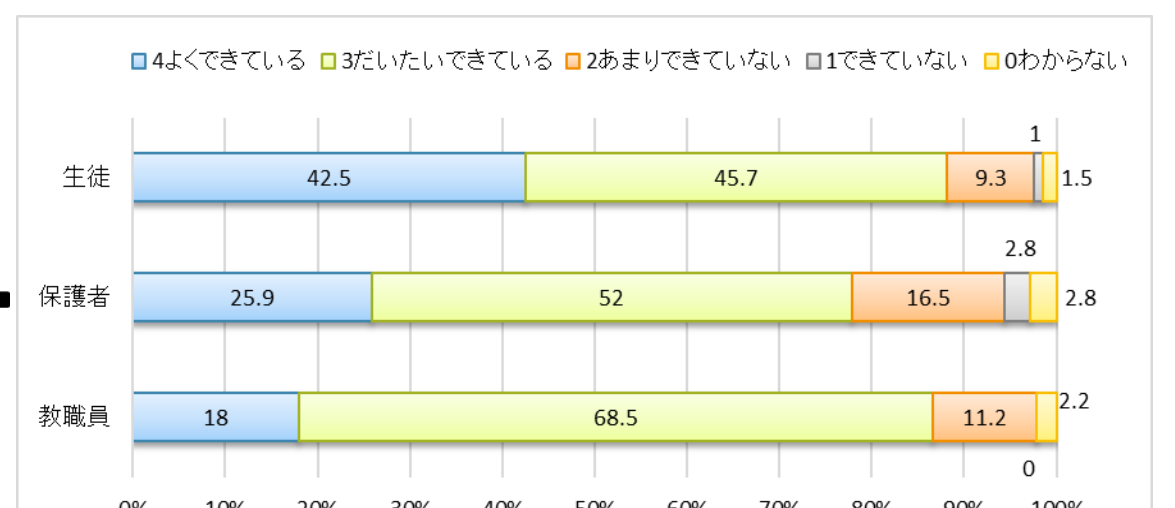
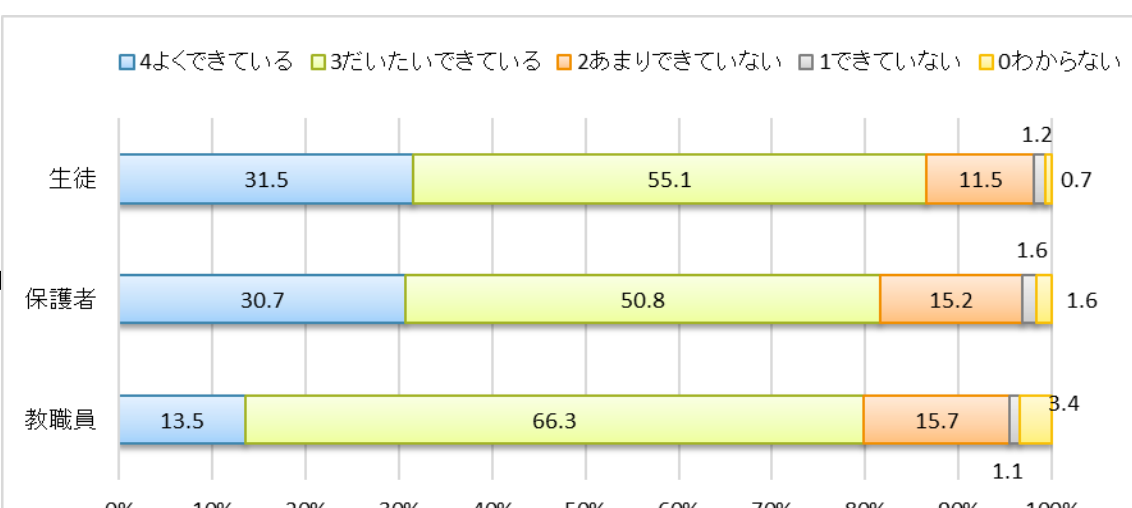
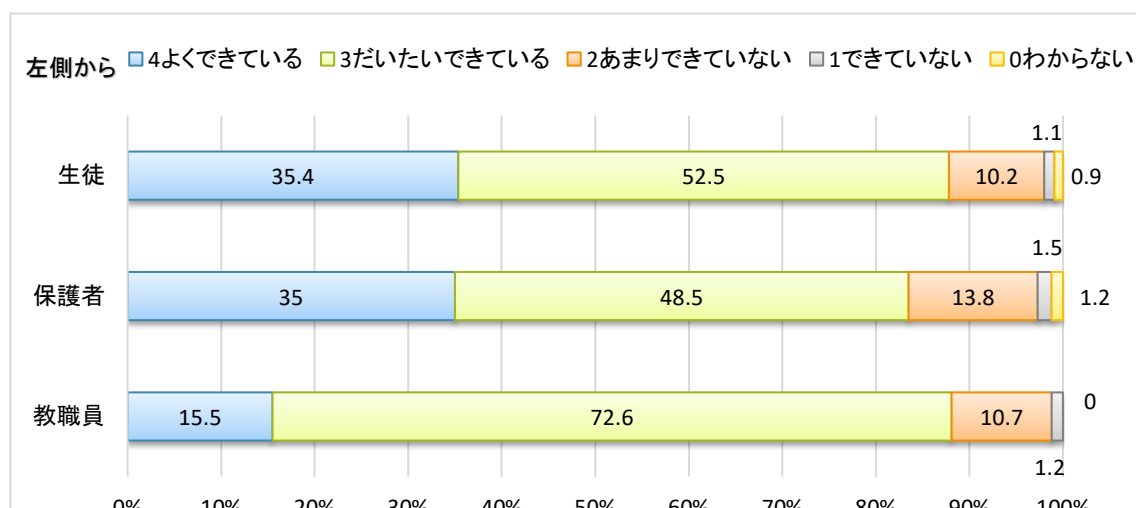
質問6 工業分野への興味・関心を深めるための支援(R6 からの質問項目)



質問6

スクールポリシー等を鑑みて、昨年度新たに加えた項目。工業分野への興味を促す支援がしっかり機能していることがうかがえる。

質問7 目標を定め進路実現への高い意識を持ち学校生活を送っている



質問7

三者ともに8割以上が肯定的に評価しており、生徒が進路に向けて意識を持って学校生活を送っている様子がうかがえる。教職員の「よくできている」が控えめで、より高い水準を目指している姿勢が見える。

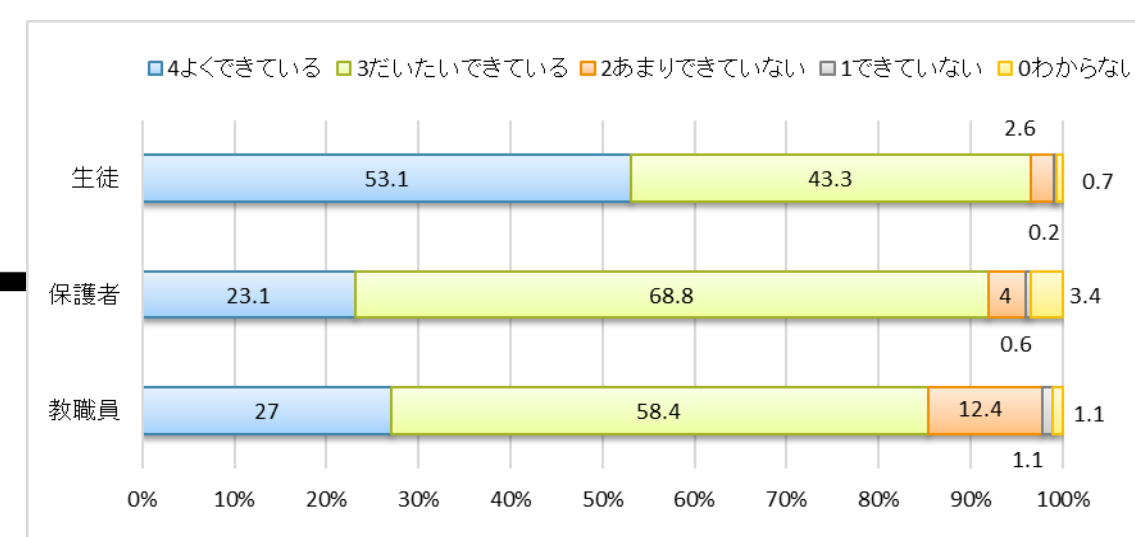
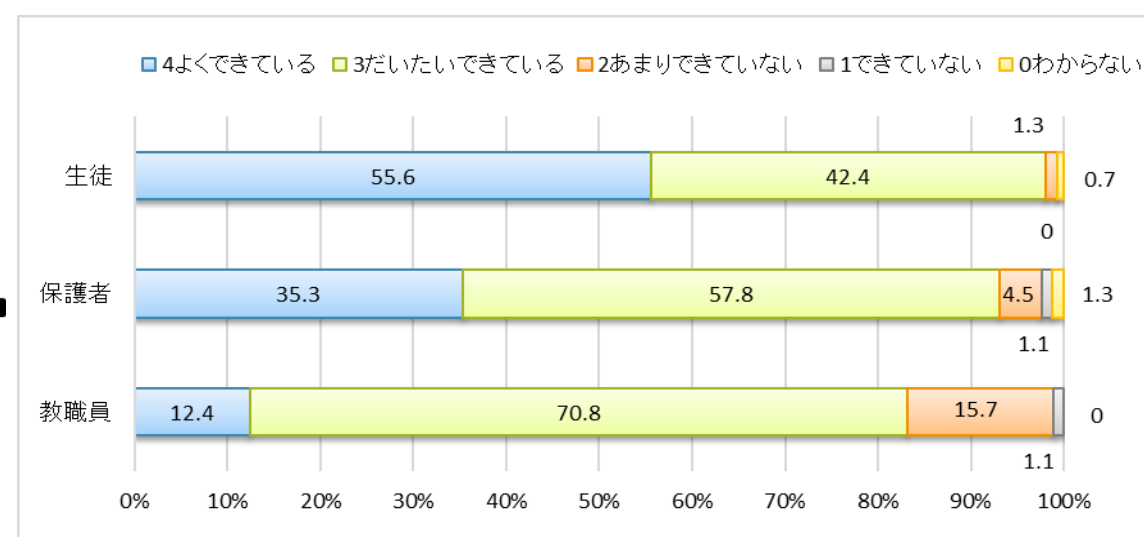
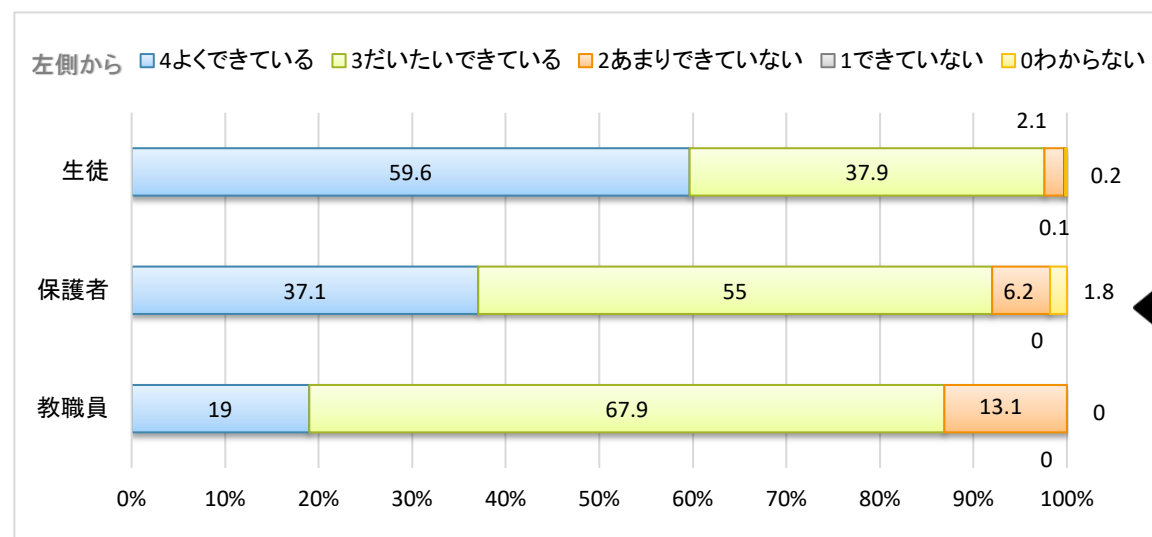
本年度(R7年度)

(グラフ内の数値は、%単位)

昨年度(R6年度)

一昨年度(R5年度)

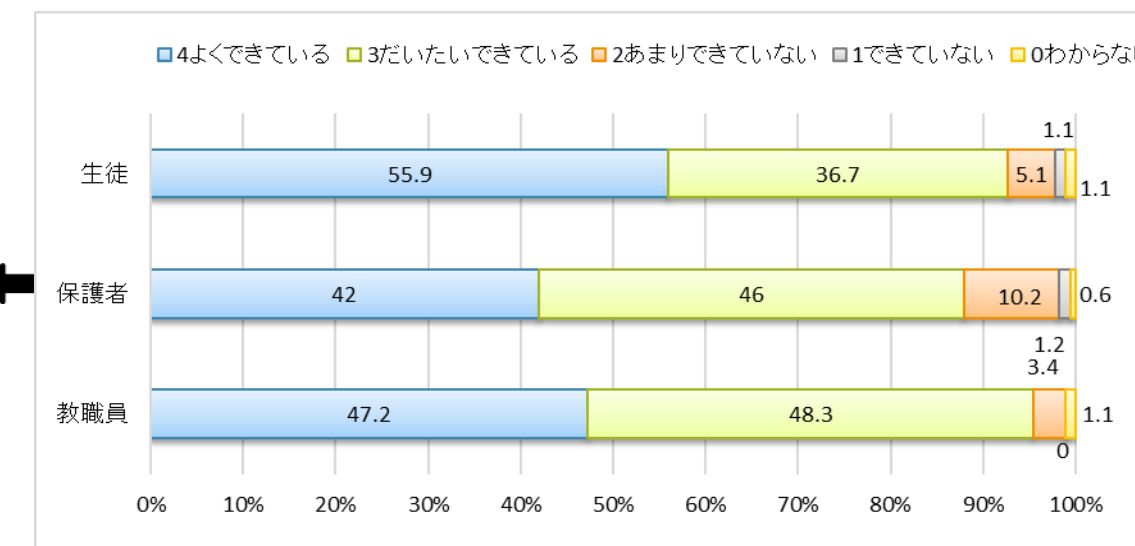
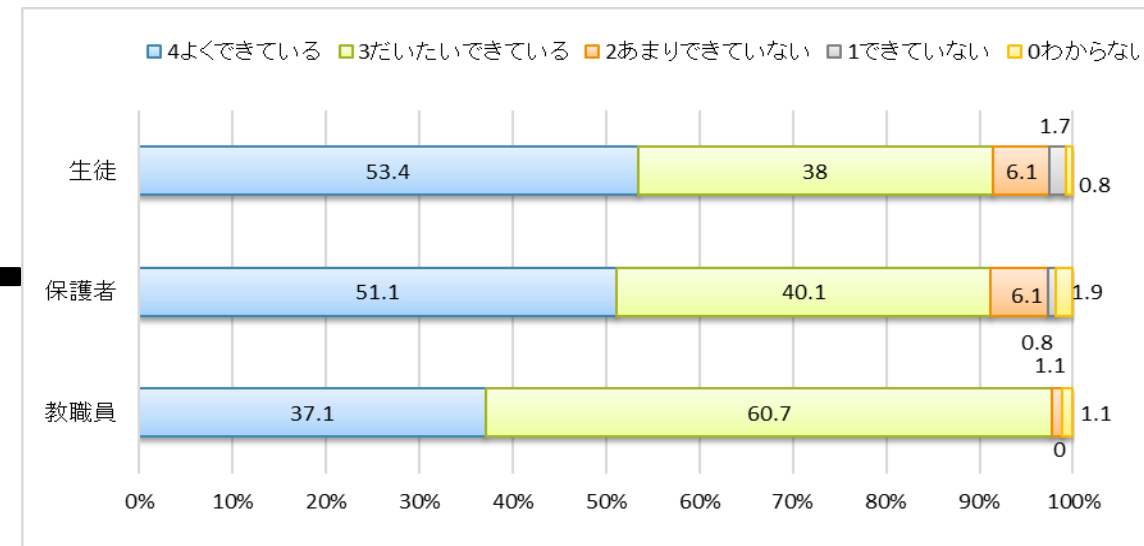
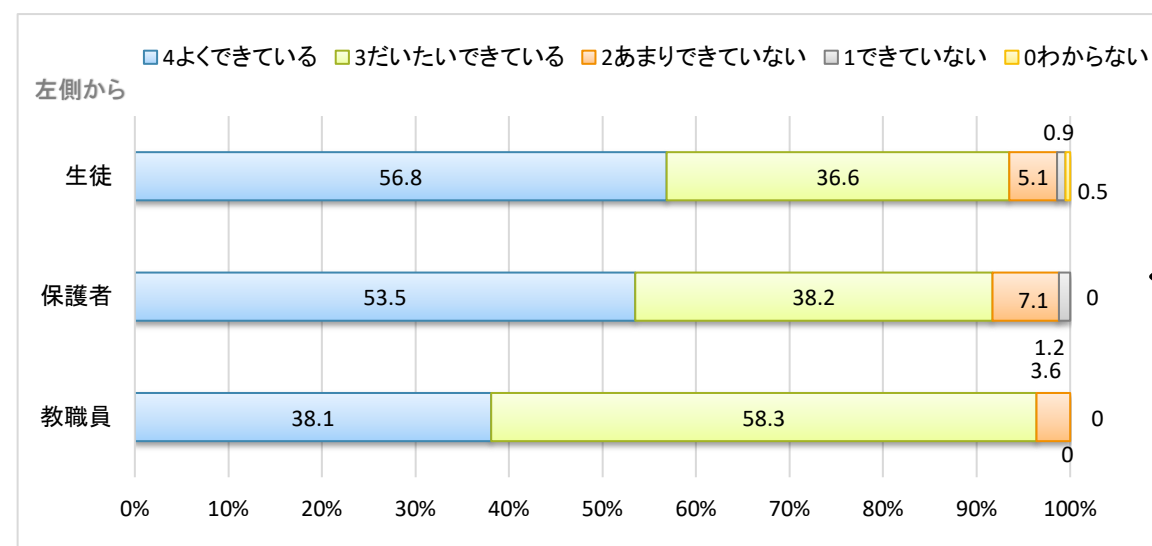
質問8 挨拶や礼儀、他人（ひと）を思いやる態度が身に付いている（R6 変更項目）



質問8

昨年度より「挨拶」に限定した評価から「礼儀や思いやり」も含めた項目に変更している。礼儀や思いやりに関する評価は全体的に高く、生徒自身の自己評価が特に高い。教職員の評価はやや厳しめで、日常の中での実践に課題を感じている可能性がある。

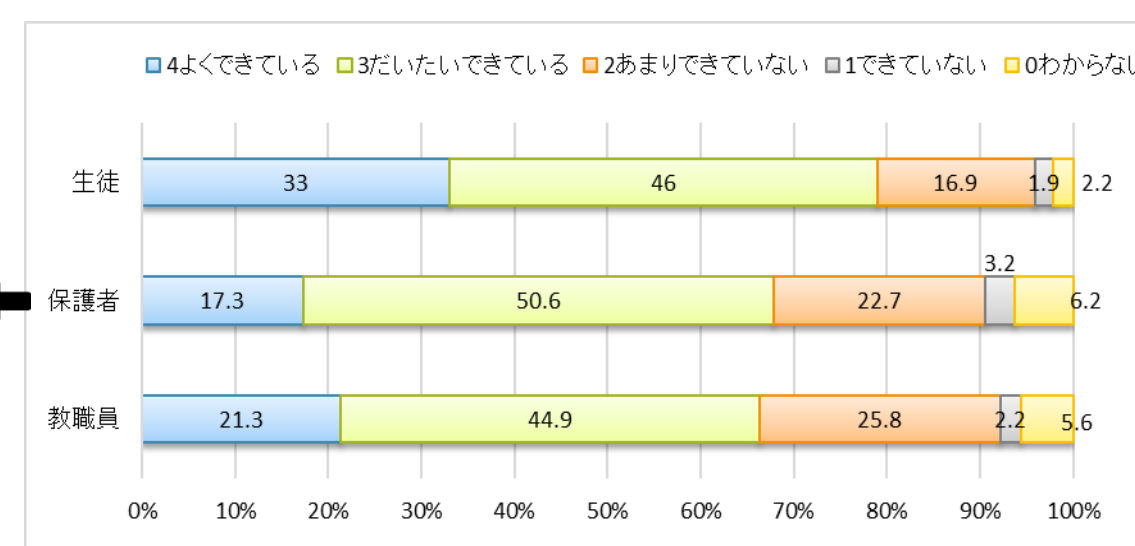
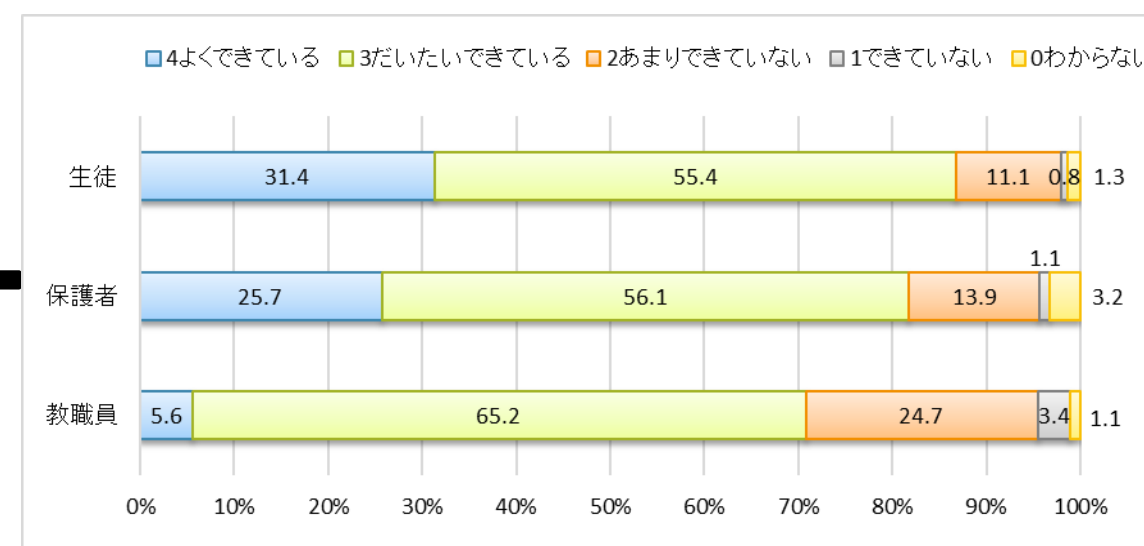
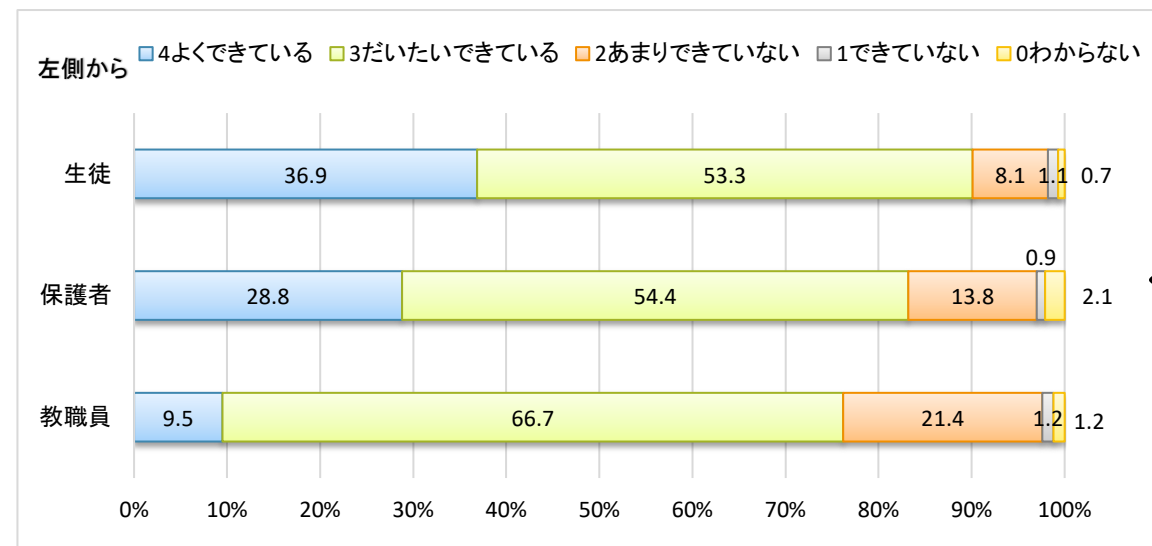
質問9 部活動や資格取得に意欲的に取り組んでいる



質問9

三者ともに非常に高い肯定的評価を示しており、部活動や資格取得に対する生徒の意欲がしっかり育まれていることが分かる。特に生徒自身と保護者の「よくできている」が半数を超えているのは心強い。

質問10 自ら学び、考え、主体的に行動する力が身に付いている（R6 からの質問項目）



質問10

昨年度に「自主的な学習ができています」から変更した項目。生徒自身は高く評価している一方で教職員の評価はやや控えめで、生徒の自己認識と教職員の観察との間にギャップがあるように見える。生徒の成長を実感できる振り返りの機会を教員が持つなど、認識のギャップを埋めていけるとよい。